

# TOJUU JOURNAL

01

VOL. 618

TOKYO  
VETERINARY  
MEDICAL  
ASSOCIATION

その診療は世界につながる  
来るぞ、世界獣医師会大会。

# 小動物医療従事者向け会員制サイト SAC NAVIのご案内



画像はイメージです

小動物医療従事者向け会員制サイト SAC NAVI では、アカデミックな内容を中心に、学術記事、症例報告、セミナー等の動画コンテンツ、eラーニングなど、獣医療を取り巻く様々な情報を配信中です。

<https://sacnavi.kyoritsuseiyaku.co.jp>

## SAC NAVI は《会員制サイト》です ご利用には会員登録が必要です

3営業日  
程度

### STEP 1

仮登録フォームに  
メールアドレス入力

### STEP 2

登録メールアドレスに  
本登録フォームURL 送付

### STEP 3

本登録フォームに  
お客様情報入力

### STEP 4

登録メールアドレスに  
ID・パスワード送付

2次元コードまたはURLより**仮登録フォーム**にアクセスし、案内に沿ってメールアドレスをご登録ください。ご登録のメールアドレスへ本登録フォームのURLをお送りします。

<https://sacnavi.satori.site/registration>



- アカウントの発行までにお時間を頂戴いたします。(3営業日程度)
- アカウントは個人ごとでの登録とさせていただきます。お一人様につき1メールアドレスでの登録をお願いいたします。(セミナー等の受講情報管理に使用させていただくため、同一メールアドレスを利用した複数名様のお申込みはご遠慮ください。)
- キャリアメールではセキュリティ設定の関係上、登録内容案内のメールが届かない場合がございます。Gmail等のフリーメールアドレスでの登録をおすすめしています。
- 会員登録後12ヵ月間以上本コンテンツのご利用がない場合、個人情報保護の観点から会員情報を削除させていただきます。

### 【お問い合わせ】

共立製薬株式会社 Mail : [infosacnavi@kyoritsuseiyaku.com](mailto:infosacnavi@kyoritsuseiyaku.com)  
または共立製薬営業担当まで

取得した個人情報は共立製薬からのご案内・メールマガジンの送付等に使用させていただきます。  
詳細はサイト上の会員規約・プライバシーポリシーからご確認ください。

# TOJU JOURNAL

## 特集 FEATURE

その診療は世界につながる  
来るぞ、世界獣医師会大会。 .....9

## 巻頭言 INTRODUCTION

新年のご挨拶「獣医師が社会の中心に立つ時代へー獣医師 4.0 ー」.....2  
公益社団法人 東京都獣医師会 会長 上野弘道

## 東獣報告 TOJU REPORTS

獣医界ニュース .....4  
令和7年度 獣医学術関東・東京合同地区学会 報告 .....7

## インフォメーション INFORMATION

各事業提出期日のお知らせ .....8  
イベント・セミナー ..... 19  
行政処分 ..... 19  
会員異動 ..... 19  
謹賀新年・賛助会員一覧 ..... 20  
公示 ..... 22  
会務報告 ..... 24



## 巻頭言

### 新年のご挨拶

# 「獣医師が社会の中心に立つ時代へ—獣医師4.0—」

公益社団法人 東京都獣医師会  
会長 上野弘道

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。旧年中は本会の運営に多大なるご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

社会はポストコロナの段階を経て、人と地域のつながりが再び生まれ始めています。その中で、動物は家族であり、心の支えであり、地域社会の関係性を育む存在として、その価値はますます高まっています。しかし一方で、犬の飼育頭数は減少し、子どもが動物と触れ、命の尊さや責任を学ぶ機会が確実に減りつつあります。動物とともに生きる価値を、社会に改めて伝えていくことが求められています。

人と動物の関係は、単なる「飼う」「管理する」という枠を超え、互いに心を通わせ、支え合う関係へと深化しています。さらに、その関係がもたらす多様な効果は科学的にも明らかとなってきました。身体的効果として、フレイルや認知症の予防、アレルギー発症

の抑制が示され、精神的効果としては、子どもの情緒の安定、抑うつ・孤独感の軽減、認知機能の維持が確認されています。また、社会的効果として、犯罪発生率の低下や地域コミュニティの活性化、介護費の削減なども報告されています。動物は人と社会にとって“癒し”や“絆”を象徴する存在であり、共生のあり方こそが社会の成熟度を映す鏡といえるでしょう。

しかし、こうした価値を持続的に次世代へと手渡していくためには、社会の側からの意識的な支えが欠かせません。動物・人・地域・福祉・教育・健康・財政は、それぞれが独立して存在しているのではなく、日々の暮らしの中で重なり合い、立体的につながっています。だからこそ、個別の領域を別々に扱うのではなく、全体を俯瞰しながら最適な関係性をデザインするワンヘルス・アプローチ（全体最適の視点）が重要となるのです。

動物愛護や福祉の推進、感染症対策、公衆衛生の向上、さらには災害時の動物救護体制の整備など、獣医師が果たす役割は広範です。これらの活動を通じて、

人と動物が安心して暮らせる社会基盤を築くことこそ、私たちの使命であり、誇りでもあります。また本会では、高い倫理観と社会的責任を備え、自律した専門職として行動できる獣医師を育成することが、持続可能な獣医療の発展につながると考えています。互いに学び合い、高め合う文化を醸成し、地域社会における獣医師の役割を明確に伝えることで、社会からの信頼を一層強固にしていきたいと思います。

本会では、学校教育と連携した「いのちの授業」、高齢者と伴侶動物の生活を支える相談支援、地域防災におけるペット同行避難体制の整備、動物との触れ合いを通じた交流の場づくりなど、現場に根ざした取り組みを進めてまいりました。しかし、これらの実践を「社会に浸透させる力」へと高める視点が求められています。そのために本会は、日本獣医師会と協調し、動物との暮らしの価値を社会にわかりやすく提示するマーケティング的アプローチを推進してまいります。伴侶動物と暮らすことが、健康と生きがい、そして地域のつながりを育む前向きな選択であることを、多くの市民が自然に実感できる社会の構築を目指します。本会としても、動物飼育の喜びと責任、その付加価値を伝える普及啓発と教育を、新たな視点と手法で一層強化してまいります。

こうした取り組みは、国際的な潮流とも重なります。本年4月21～24日、東京国際フォーラムにて世界

獣医師会大会（WVA Congress）が開催されます。世界各地から獣医師、医師、研究者、行政関係者、産業界の専門家、教育者が集い、未来の獣医療と社会の在り方をともに考える場です。本大会への参加は、世界の最新知見と実践に触れ、自らの専門性と倫理観を磨く貴重な機会となります。そこで触れる世界には、「獣医療だけに閉じていては見えない視界」があります。若い世代にとっては、自身のキャリアが世界と地続きであることを実感する契機に。開業医にとっては、地域における役割を再定義する手がかりに。行政・研究・産業に携わる獣医師にとっては、専門性を横断した協働の価値が立体的に見えてくる場となるでしょう。まさに、井の中の蛙ならぬ「医」の中の蛙から一步外へ踏み出し、獣医師という職能の広がりを見出す瞬間です。世界とつながるとき、「獣医師で良かった」という思いは、確信と使命へと昇華します。そして見えてくるのは、獣医師が動物医療の専門家にとどまらず、人・動物・社会・環境の健全性に寄り添う「**社会を医する存在**」としての未来です。それこそが「獣医師4.0」であり、いま私たちが迎えている時代の姿です。

本年も、人と動物がともに生きる社会の実現に向け、皆様とともに歩んでまいります。令和8年が、会員の皆様にとって、自身の深化を実感する一年となりますことを心より祈念いたします。

## 理事会の動き

## 令和 (R) 7 年度第 3 回定例理事会

R7 年度第 3 回定例理事会は 10 月 6 日 (月) 10 時から、日本獣医師会会議室と web のハイブリット形式にて、会長、副会長、理事、監事の役員 14 名及び事務局職員の出席をもって開催された (道路混雑により、小川理事、高藤理事が定刻に到着できず、小川理事は開始時 Zoom 参加、15 分後から対面参加とし、高藤理事は開会の 20 分後から対面参加した。審議事項決済については、個別に承認の意を確認した)。開会にあたり、上野会長から「R7 年度第 3 回理事会を開催する」旨の挨拶後、本会定款 第 33 条第 1 項により過半数以上の理事出席をもって理事会成立を確認し、続いて同定款第 32 条により上野会長が議長となつて、同定款第 34 条第 2 項により議事録署名人は会長並びに出席監事及び出席理事 (鈴木 博理事) として、会議は次のとおり進められた。

## 【報告事項】

1. 東獣会事務処理関係：前回理事会以降の主な事務手続き等が、次のとおり報告された。(抜粋)

(1) R7 支部委託事業等に関わる事務手続き (請求・報告等)、R8 支部委託事業等に関わる事務手続き (見積等) (2) R7 本部受託事業に関わる事務手続き (請求・報告等) (3) SNS 安否確認訓練 (9/1) の結果報告 (4) HP・Facebook による情報発信 (5) R7 関東・東京合同地区獣医師大会三学会 (9/7 甲府) の開催報告 (6) 長寿犬猫表彰の賞状一式配布開始 (7) R7 年度動物愛護週間中央行事 どうぶつ愛護フェスティバル (屋内行事) (9/23) 開催 (8) 日本獣医師会「男女ともに獣医師として活躍を続けるためのセミナー」講師調整、職域別部会の常設委員会委員候補者への推薦とりまとめ、日本獣医師会誌電子ジャーナル化に伴う本会会員のメールアドレスクリーニング (9) 新 HP の委託事業者 HUMO とのふりかえり会議 (10) R7 会費納入の確認並びに未払い者への周知 (11) R7 若手昼食会開催 (8/7) (12) 広報戦略会議開催 (8/5) (13) 三菱地所 2024 年度大規模修繕工事の東獣負担金と償却資産税についての打ち合わせ (14) 対面式合同就職説明会 (10/26 新宿) の準備 (15) 飼い主向け SFTS 啓発動画の掲載サイトの確認

<支部関連> (1) R7 支部公益事業完了報告・請求に係る事務手続き (2) R8 支部公益事業契約・見積に係る事務手続き (契約権限の委譲等) (3) 支部長、各担当変更の事務手続き (4) 各種案内：FASAVA 2025

大邱大会の国際学会発表支援期間延長のご案内、「笑って健康! ルミネ the よしもと」公演チケットプレゼントのご案内、「狂犬病予防法施行令の一部改正について」(通知)、ペットによる事故防止に関する啓発活動へのご協力をお願い、東京農工大学「ワンウェルフェア高等研究所」のキックオフシンポジウムについて、大阪公立大学 Zoobiquity Symposium の開催について、R7 年度関東・東京合同地区獣医師会大会 (山梨) の無料参加枠と災害動物支援セクションのご案内、学校飼育動物獣医師養成講座、重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) の国内での発生状況について、神奈川県医師会・神奈川県獣医師会合同開催「人獣共通感染症 One Health 講演会」についての案内、日本獣医師会より「犬の登録支援システム」について (依頼)、野生いのししにおける豚熱感染確認と対策の強化について (通知)、一般公開の案内「国立感染症研究所 戸山本部」、SFTS 疑い事例の飼い主への説明と診療同意書について、R7 中間決算提出の件、「重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)」の国内での発生状況について、R7 年度小動物臨床講習会 (関東地区) の開催について (栃木県獣医師会)、R7 年度動物愛護週間中央行事について、日本大学小澤先生より臨床試験協力依頼について等

2. 本会の活動状況：(前回理事会以降の活動状況等)

(1) 本会の会議、委員会等の活動状況と予定について業務執行理事会議 (9/17)、定例理事会 (10/6) 等の開催が報告された。

(2) 本会の学術、生涯教育等の開催状況について学会、講習会、支部学術講習会：なし。後援依頼：公益財団法人日本ヘルスケア協会「ペットパスポートプロジェクト」について協議され、継続審議となった。

3. 関係機関、他団体等関係事項：(1) 都庁関係：なし (2) 日獣関係：「男女ともに獣医師として活躍を続けるためのセミナー」講師調整、職域別部会の常設委員会委員候補者への推薦とりまとめ、日本獣医師会誌電子ジャーナル化に伴う本会会員のメールアドレスクリーニング (3) 他県獣医師会関係：神奈川県獣医師会 神奈川県下獣医師会・東京都獣医師会懇親会日程調整 (4) R7 関東・東京合同地区獣医師大会・三学会 (9/7 甲府市) 本会会員の原田恭治先生 (日本獣医生命科学大学) が小動物学会にて地区学会長賞を受賞された。(5) 政令指定都市協議会：R7 は川崎市にて 11/9 開催 (6) 国際交流関係：世界獣医師会大会 2025

ワシントン D.C. (7/18 ~ 7/20) 上野会長参加、FASAVA 2025 韓国大邱 (10/31 ~ 11/2) 上野会長、高藤理事参加予定

4. 電子申請による公益事業：本会の電子申請番号による公益事業の活動状況（前回理事会月以降）は次のとおり。

事業No.1 都民公開シンポジウム事業関係：東京都医師会との共催シンポジウムを検討

事業No.2 狂犬病予防対策事業：2-ア 都民に対して狂犬病予防に関する資料等を作成し情報提供、R7 第1回狂犬病対策検討委員会開催、R7 狂犬病集合注射実施頭数・普及啓発費の報告、2-イ 各病院や支部において犬の飼育者に対しワクチン接種の必要性や狂犬病に関する知識を普及啓発、2-ウ 獣医師に対する知識及び診断技術の周知並びに情報提供中、2-エ 狂犬病予防注射接種率と登録率の向上促進の取り組みの報告がなされた。

事業No.3 危機管理・防災事業：SNS 安否確認訓練 (9/1) の結果報告、R7 東京都総合防災訓練 (8/31 東京都・羽村市・日の出町) の実施報告

危機管理・感染症対策事業：国立感染研「獣医療関係者の SFTS 発症動物の対策について (2023 年バージョン)」広報中、SFTS についての注意喚起の一斉メールを発信、SFTS についての飼い主への説明のポイントと診療同意書の作成、飼い主向け SFTS 普及啓発動画の配信結果報告、都内の犬レプトスピラ症発生の情報公開依頼（家保へ）と注意喚起

事業No.4 獣医公衆衛生対策推進事業：4-ア 動物由来感染症モニタリング調査事業：R7 継続実施中。期中に辞退病院があり、急遽対応病院の選定、4-イ 人と動物の共通感染症及び食の安全等対策事業：普及啓発動画・SFTS 臨床対策ムービー、特設ウェブサイト「人と動物の共通感染症ガイダンス Web 版」公開中

事業No.5 学校飼育動物関係事業：5-ア 学校に対する学校飼育動物関連知識の普及啓発及び適正な飼育指導を継続中、5-イ 学校獣医師育成講座：R7 第1回学校飼育養成講座の開催報告、第1回学校飼育動物対策委員会 (9/9) の開催報告、5-エ 小学校動物飼育推進校事業（都委託事業）：中野区立上鷺宮小学校・小平市立第九小学校・渋谷区立幡代小学校・八王子市立宇津木台小学校・青梅市立第七小学校で実施中、5-オ 学校飼育動物に関わる死体検案・埋葬事業を継続実施中

事業No.6 動物愛護啓発事業：6-ア R7 年度長寿犬猫表彰の応募受付中、6-イ ネコの不妊去勢手術を地域支

部事業にて実施中

事業No.7 医療廃棄物等適正処理活動：東獣ジャーナルに情報提供するなど継続実施中

事業No.8 身体障がい者支援活動事業：ひかりの箱募金の再度撤収・集金、東京都福祉局を通して R7 補助犬診療券の配布 (5/2)

事業No.9 夜間診療活動及びマネジメント：留守番電話による HP への誘導と HP での診療施設紹介継続中

事業No.10 小笠原自然環境保護活動事業：10-ア 捕獲されたノネコの保護活動を継続実施中、富士フィルム VET システムズ主催「小笠原保護猫フォトコンテスト」募集中

事業No.11 傷病野生鳥獣保護活動事業：傷病野生鳥獣の保護及び治療活動を継続中

事業No.12 学会・講習会活動事業：都補助獣医公衆衛生学術振興事業による普及啓発動画を放映中（東獣 HP にて）

事業No.13 広報活動：東獣ジャーナルと東獣 HP による情報提供を継続中、2025 年 7 月号 (616 号) 冊子版の発行『特集 明日から役立つ 獣医師のメンタルヘルス対策』、Facebook による情報発信、HP リニューアルに関する振り返りと広告規程並びに料金改定の件が報告された。

事業No.14 産業動物委員会開催予定

事業No.15 医療事故防止セミナー開催事業：H27 ~ R5 普及啓発動画を本会 HP 及び YouTube にて放映中

5. 本会共益事業：（前回理事会月以降の活動状況）本会の共益事業に関して、本会案内パンフレットや HP、Facebook 等を以て広報を行う等、加入促進を行ったことが報告された。合同就職説明会 (10/26 新宿) 開催に向け準備中であることが報告された。

その他：東獣災害互助システムは、組織力を活かし会員同士の災害発生時の互助の仕組みとして開発中であるが、スマホ対応も検討していることが報告された。「ワンヘルスアプローチで考える会」コアメンバーの会 (7/15)、同会のコアメンバーの会 (8/22・9/19) 事務局にて開催が報告された。R7 委託事業の事業内容と構成委員について報告された。インターペット 2026 のキッズ獣医師体験、セミナー、ブース出展依頼を受けたことが報告された。

#### 【審議事項】

審議事項 1：会員異動等

審議経緯 1：担当理事が届出書類を確認済みであるこ

とが報告され、新規入会 4 名、届出変更の会員種別変更 3 名については、理事全員の賛成を以て承認された。賛助会員新規入会 1 社については継続審議となった。支部変更・支部長の交代、福利厚生関係、無受給者への記念品申請はなし。

#### 審議事項 2：世界獣医師会大会（R8 4 月）参加者動員について

審議経緯 2：開催地の獣医師会として、多くの参加者動員を求められるため、参加費補助について上程され、審議がなされた。本会からは AB 会員 50 名を動員することとし、早期割引価格を活用し、1 人当たり 5,000 円の自己負担額で参加者を募る事（1 人当たり 21,400 円の参加費補助。総額として 1,070,000 円を本会が負担）が、理事全員の賛成を以て承認された。

#### 審議 3：賛助会員企画 ワンニャンイラストキャンペーンについて

審議経緯 3：2025 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”（11/15）にて、賛助会員分科会「ペッ

トの価値向上チーム」が検討していた「おえかき広場」を出展することが上程され、審議された。予算は「いのちの救済基金」から負担することが提案され、理事全員の賛成を以て、内容・予算とも承認された。

#### 審議 4：後援依頼「ペットパスポートプロジェクト」について

審議経緯 4：公益財団法人日本ヘルスケア協会 人とペットの共生によるワンヘルス部会より「ペットパスポートプロジェクト」の後援依頼があり、継続審議となった。

#### 審議 5：FASAVA 2025 発表者支援企画について

審議経緯 5：10 月 31 日開催の FASAVA 2025 大邱大会においては、3 名支援することで発表者を募っていた。最終的に 6 名の応募があった。初の国際学会ということもあり、全員を支援したいと担当理事より提案がなされ、1 人あたり 160,000 円の支援で 6 名支援することが上程され、審議された。理事全員の賛成を以て、支援内容の変更が承認された。

令和7年度 獣医学術関東・東京合同地区学会（小動物）にて原田先生受賞

令和7年9月7日（日）に山梨県中巨摩郡昭和町のアピオタワー館で、令和7年度 関東・東京合同地区獣医師大会・三学会が開催された。本会からは6名の先生が発表された。中でも、小動物学会B会場で発表された、日本獣医生命科学大学 原田恭治先生の「膝蓋骨内方脱臼の治療として大腿骨と脛骨に矯正骨切り術を実施したトイ・プードルの1例」が地区学会長賞を受賞された。受賞された原田先生は、令和8年4月に東京国際フォーラムで開催される、世界獣医師会大会と同時開催の日本獣医師会年次大会においても、発表予定である。



事務局で表彰した際の原田恭治先生と上野会長



犬猫専用ワックスで仕上げているので滑りにくく、動物がなめても安心です。



専用ステッカー進呈  
施工後に入口に貼ってください

滑りにくく、オシッコに強い!  
動物がなめても安心です。

こちらもファインプランにお任せください!

エアコン、水廻りなど  
排気・排水管が毛で詰まっていますか?



総合ビルメンテナンス

株式会社 ファインプラン

会員様へは... お見積無料・詳しいパンフレットをお送り致します

東京都獣医師会 賛助会員



ファインプラン

検索

東京都品川区旗の台5-13-1  
FAX.03-6426-2715(24h対応)

電話受付

9:00~18:00 TEL.03-6426-2744

<http://fine-plan.com>



gyo-mu@fine-plan.com(24h対応) 清掃・設備メンテナンス・リフォーム・ビルメンテナンス全般(外壁・防水等)



# その診療は世界につながる 来るぞ、世界獣医師会大会。

世界の獣医師が一堂に会する世界獣医師会大会が、31年ぶりに日本で開催されます。テーマは「ワンヘルスで世界の獣医療が示す未来」。日々の診療ではなかなか身近に感じる機会が少ない「ワンヘルス」という言葉。実は、人・動物・環境が深く関わり合う現代において、獣医師が果たすべき役割を再確認し、視野を広げるうえで欠かすことのできないキーワードとなります。今大会では、世界各国から多様な分野の専門家が集結し、未来の地球のために獣医師ができることについて議論が交わされます。

今回はそんな世界獣医師会大会に向けて、大会の魅力や見どころ、大会を通じて見えてくるワンヘルス（One Health）の未来、そして獣医師が担うべき使命について、キーパーソンの皆さまにお話を伺いました。

**小川篤志**

東京都獣医師会 理事

**上野弘道**

東京都獣医師会 会長

**藏内勇夫**日本獣医師会 会長  
世界獣医師会 次期会長**伊藤優真**東京都獣医師会  
広報委員長

# その診療は世界につながる 来るぞ、世界獣医師会大会。

Interviewee：藏内勇夫 日本獣医師会 会長、世界獣医師会 次期会長

Editor：TOJU広報委員

Interviewee：上野弘道 東京都獣医師会 会長

撮影協力：長田 慶

Interviewer：小川篤志 東京都獣医師会 理事

Interviewer：伊藤優真 東京都獣医師会 広報委員長

## 知っていますか？ 世界獣医師会大会

### 世界獣医師会大会とは？

**小川** 今回、世界獣医師会大会が2026年4月に日本で開催されるということですが、この「世界獣医師会大会」とはいったいどのような大会なのでしょう。我々が普段参加している学会とは違い、聞き慣れない名前ですので、色々とお話をお伺いできたらうれしいです。

**藏内** 世界獣医師会大会というのは、世界獣医師会 (World Veterinary Association : WVA) による大会で、世界各国の獣医師や獣医学関係者が一堂に会する貴重な機会となっています。2026年の4月に開催される東京大会では「ワンヘルスで世界の獣医療が示す未来」

をテーマとし、人と動物の健康と環境の健全性を一つと考えるワンヘルス (One Health) に着目して、多岐にわたる分野の発表が行われる予定です。

**上野** 以前日本で開催されたのが1995年の横浜大会ですから、実に31年ぶり、2度目の開催ということになりますね。

**伊藤** 久しぶりの日本での開催なのですね。臨床分野中心の内容なのでしょうか。

**藏内** 小動物臨床に限らず、大動物や公衆衛生、野生動物、動物福祉など、さまざまな分野について触れることができる大会になります。

**伊藤** 普段は臨床に携わっている先生にとっては、臨床以外の獣医師の役割を知るよい機会になりそうです。



### 【上野弘道】

#### ■略歴、プロフィール

1998年 日本大学卒業、獣医師国家試験合格  
2016年 名古屋商科大学 大学院 経営学修士 (MBA) 修了、  
公社) 日本動物病院協会 外科認定医 取得  
2022年 日本獣医生命科学大学 大学院博士課程修了・  
博士 (獣医学) 取得

#### 主な役職 (現在)

公益社団法人 東京都獣医師会 (TVMA) 会長  
公益社団法人 日本獣医師会 (JVMA) 理事  
公益社団法人 日本動物病院協会 (JAHA) 副会長  
一般社団法人 日本小動物整形外科協会 (VOA japan) 副代表理事  
日本動物医療センターグループ 代表  
帝京科学大学 非常勤講師

**小川** 世界獣医師会大会が東京で開催されるということで、日本の獣医師にとっては大変誇らしいことですね。そして、藏内会長がこの世界獣医師会の会長になられるとお伺いしましたが、こちらもさらに喜ばしいことだと思います。そこでお聞きしたいのですが、世界から日本に期待されていること、あるいは藏内会長ご自身が感じている皆さんへの期待は、どのような点にあるとお考えでしょうか。

**藏内** それはやはり、一番はワンヘルスだと思いますね。ワンヘルスとは、人と動物の健康と環境の健全性を一体的に守るための概念です。世界の研究者や医師会・獣医師会の間では、「なぜ日本はワンヘルスにこれほど取り組めるのか」という関心が高いのです。

**小川** ワンヘルスについては東獣ジャーナルでも過去に特集したこともあります（※2023年1月号 vol. 606、東京都獣医師会 HP で閲覧可能）。

**藏内** ワンヘルスに関しては、2004年に感染症予防や生物多様性に関する「マンハッタン原則」が提言されたものの、近年まで具体的な取り組みや大きな進歩がありませんでした。しかし、2016年に日本で国際会議が開催され、ここで初めて世界医師会と世界獣医師会、そして日本医師会と日本獣医師会の4団体が共同でワンヘルスの具体的な4項目をまとめた「福岡宣言」

を採択しました。

**小川** そのような流れだったんですね。

**藏内** この「福岡宣言」は、人と動物の感染症対策、抗菌薬の適正使用、医学・獣医学におけるワンヘルス教育の強化、そして両者の連携による社会課題への共同対応などについてまとめられ、ワンヘルス推進に向けた連携の一步となりました。

**伊藤** ワンヘルスの具体的な取り組みは、日本から動き出したんですね。

**藏内** なぜ日本はワンヘルスをここまで具体的に進めてくることができたのか、なぜ政治がこれほど関わり、行政が出資し、教育の中でも積極的な話し合いが進むのか——そういった点に世界が注目しています。

## 東京都獣医師会としての影響力

**小川** 世界獣医師会から期待されていることとして、日本獣医師会、そして藏内会長に対して、ワンヘルスという一つのキーワードをさらにリードしてもらいたいという思いがあったんですね。その流れで上野先生にお伺いしたいのですが、東京都獣医師会としても役割があるわけですよね。ところが、人獣共通感染症や環境問題というものに対して、やや距離を感じられる方も中にはいらっしゃると思うのです。

### 【藏内勇夫】

#### ■略歴、プロフィール

1979年3月 日本大学農獣医学部獣医学科 卒業

1987年4月 福岡県議会議員初当選  
以後10期連続当選

1993年7月 九州国立博物館誘致対策調査特別委員会委員長

2001年5月 福岡県議会 議長

2003年6月 日本動物保護管理協会 会長

2006年6月 中央畜産会 常務理事

2010年3月 九州大学 大学院生物資源環境科学府 動物資源科学専攻 博士課程修了 博士（農学）取得

2013年6月 日本獣医師会 会長

2014年3月 日本獣医生命科学大学 名誉獣医学博士 受授

2022年11月 アジア獣医師会連合（FAVA）会長（2024年10月まで）

2024年4月 世界獣医師会 次期会長（2026年4月から会長）

2025年4月 福岡県議会 議長（2回目）

2025年6月 全国都道府県議長会会長

#### 主な役職（現在）

- ・全国都道府県議長会会長
- ・公益社団法人 日本獣医師会 会長
- ・世界獣医師会（WVA）次期会長
- ・アジア獣医師会連合（FAVA）顧問
- ・GEA 地球環境行動会議 顧問
- ・公益社団法人 中央畜産会 常務理事
- ・自由民主党福岡県支部連合会 常務相談役
- ・九州の自立を考える会 会長
- ・福岡県議会 議長
- ・福岡県議会警察常任委員会 委員
- ・福岡県議会ワンヘルス特別委員会 委員
- ・福岡県馬術連盟 会長
- ・公益社団法人 福岡県獣医師会 名誉会長
- ・公益社団法人 福岡県畜産協会 会長
- ・公益社団法人 日本空手協会福岡県本部 顧問
- ・自由民主党筑後支部 支部長
- ・筑後市体育協会 会長



**上野** そのように感じている方の声を聞くこともありますね。

**小川** 他の地域のように自然に囲まれた環境でもなく、畜産が盛んでもないという中で、獣医師の皆さんを見ると、どうしてもワンヘルスというものに対して距離を感じてしまうことがあります。そんな状況の中で、東京都獣医師会として影響力を発揮していきたいことは何でしょうか。

**上野** まず、我々東京都獣医師会にとっても、人獣共通感染症と薬剤耐性菌（AMR）は欠かすことのできない重要なテーマだと思います。また、福岡県が推進しているワンヘルスの6つの柱の中に「人と動物の共生」というものがありますが、我々は小動物を診る先生が多い団体ですから、やはりペットを介したワンヘルスに取り組みたいという強い思いがあります。

**小川** なるほど。ペットを介したワンヘルスですか。

**上野** 犬や猫をはじめとするペットとの暮らしは、人々の心を癒すだけでなく、健康面や高齢者の介護問題などでも多くのメリットがあることがわかっています。そういったメリットをしっかりと社会に伝えていくことによって「ペットと一緒に暮らすことで、私たちはこれだけ幸せになっている」ということを広くお伝えしていきたいです。また、関東でも確認され始めた重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に代表されるような、人獣共通感染症も大切なテーマになり

ますね。“自然との関わり”という部分もきちんと認識しながら対策を取っていく必要があります。これもワンヘルスの一環だと感じています。東京都獣医師会では、特にこれらの部分を力強く進めていきたいと思

います。

**藏内** ちょうどそこに貼ってある小笠原諸島の野生動物に関するポスターのメッセージにもありますね。『人とペットと野生動物が共に暮らせる』というのは、いま非常に大切なテーマになります。

**小川** 先ほど上野先生がおっしゃったような、人と動物の共生、特に都心部における共生がテーマになってくるとは思いますが、そうした点については、藏内会長としても期待されるのでしょうか。

**藏内** 大切だと思いますね。人間が自然環境を理解して共生し、自然が少ない都心でも心豊かに生活ができるということは、ワンヘルスにおける健康づくりの第一歩です。獣医師というのは、動物の健康を守ることで人間の健康を支えているのです。そういった意味では、特に東京都獣医師会が果たす役割は大きいと思いますよ。

## 大会を盛り上げるコンテンツ

### 五輪種目にもなった、あのパフォーマンス

**小川** では、切り口を変えてお伺いします。今回、世界獣医師会大会が東京国際フォーラムで開催されますが、参加者はどのように楽しめばよいのでしょうか。

**藏内** 今回のテーマにもある「ワンヘルス」ですが、なかなかわかりにくい概念ですよ。実際、まだよく理解できていない先生方もいらっしゃるかと思います。そうした先生方、さらには学生や一般の方にも「なるほど!」と思っていただけるようなコンテンツをご用意したいと考えています。

**伊藤** 獣医師にとどまらず、さまざまな人にワンヘルスについて知っていただくということですね。

**藏内** そうですね。やはり多くの人に関心をもっていただくなくてはなりません。獣医師以外にも、学生や一般の方、さらには子供まで来てくれるような大会にしたいです。例えばですが、ブレイキンというスポーツをこ



小笠原自然環境保護活動事業のポスター

存知ですか？ 実は、今回の大会でそのパフォーマンスを披露していただけることが決まりました。

**小川** 本当ですか？ それはおもしろそうですね！

**藏内** 学会だと専門家しか集まらないのでね、より多くの方に足を運んで楽しんでもらえたらうれしいです。ブレイキングは2024年からオリンピックの種目にも追加されたダンススポーツで、音楽に合わせて身体をアクロバティックに動かしたり、ダイナミックなパフォーマンスをして競い合うスポーツです。

**伊藤** それは若い方も楽しめそうですね！ 実際にダンスしているところを見てみたいです。

### “日本文化を楽しむ”を楽しむ

**伊藤** 藏内会長が考える大会の魅力は、どのようなところにあるのでしょうか。

**藏内** 大きく分けて二つあると思いますね。獣医師は高度専門技術者の集団ですから、世界の専門家たちと獣医療について交流できる、世界の研究発表が聴けるという点は、もちろん魅力的なところだと思います。

**伊藤** 国際大会の醍醐味の一つですね。

**藏内** また、分野を超えた魅力もあります。例えば医師と獣医師のワンヘルスに関する共同のシンポジウムなどでは、普段交流機会の少ない医師や他の分野の専門家たちと情報交換ができる大変有意義な機会となるでしょう。

**上野** 世界最先端の獣医療の技術もそこで展開されますね。獣医療現場で活躍するロボットだとか、さまざまな機械や技術が展示されると思いますので、そういう未来につながる技術に触れるのも刺激になるでしょう。

**藏内** もう一つは、万博のようにワクワクする楽しい雰囲気ですね。

**上野** 僕はウェルカムパーティの楽しい雰囲気ばかり考えていました(笑)。

**藏内** 昨年7月に米国のワシントン D.C. で開催された

世界獣医師会大会では、閉会式に小池都知事にもご出席いただきました。小池都知事が「次の日本大会では美味しいお寿司を提供します」とおっしゃると、会場が「ワー！」と盛り上がりました。世界の参加者は和食に非常に関心があるようです。

**小川** 僕もさまざまな国に行きましたが、やっぱり楽しいのは海外の先生方との交流です。別に獣医療の話なんかしなくても「寿司好き?」「ウォ、いいね!」みたいな会話とか、もうそれだけでも楽しかったりするんですよ。そういった海外の方との交流や、同じ獣医師という資格をもった人同士のつながりがうれしいです。

**伊藤** 今回、海外から1,000人ほどの参加者が集まるという見込みですが、どのような国からの参加者が多そうですか？

**藏内** 特にアジアやアメリカからが多いと思います。海外から来た方々が楽しんでいただけるような企画や取り組みもご用意しています。





忍者姿の上野先生  
2019年FASAVA東京大会開催の誘致PRイベント(2018年シンガポール)にて。

**上野** 日本文化を楽しんでいらっしゃる海外の方を見るのも楽しいですよ。FASAVA (Federation of Asian Small Animal Veterinary Associations) の東京大会開催の誘致PRをシンガポールで行った際、私は忍者の衣装を着て会場にいたのですが、海外の先生方から大変人気で……! 次から次へと写真を撮られました。人生最大のモテ期でした(笑)。

**藏内** 臨床の先生方は忙しく、入院患者もいますから、なかなか海外を回るのも難しいですよ。ですので、今回は世界に触れる絶好の機会だと思って、ぜひ参加していただけたとうれしいです。

### ビル・ゲイツ氏、来日!!

**伊藤** 他にワクワクするような内容は何かありますか?

**藏内** 実は私、ビル・ゲイツ氏に「ぜひこの大会に来ていただきたい」と頼んでみました。

**小川** 本当ですか!! お会いされたのですか?

**藏内** ビル・ゲイツさんは、2000年にビル&メリンダ・ゲイツ財団を設立し、アフリカにおける風土病の研究やワクチン開発を通して公衆衛生の向上に取り組んでこられました。

**伊藤** フィラリア症やマラリアなどの研究にも貢献されていましたね。本当に素晴らしいことです。



藏内先生とビル・ゲイツ氏

**藏内** 私は福岡で毎年ワンヘルスの国際フォーラムを開催しており、将来的にはダボス会議のような国際的な場に発展させたいと考えているのですが、そのためには世界トップクラスの研究者に来ていただく必要があります。そこで、ビル&メリンダ・ゲイツ財団に第一線で活躍されている研究者の派遣をお願いしたところ、なんと本当に派遣してくださったのです! このお礼を直接お伝えしたいと思いご連絡したところ、実際にお会いできることになったのです。

**伊藤** ええ……! それは本当にすごいことですね。

**藏内** 直接お会いした際には「ご協力いただき、本当にありがとうございます」とお礼を言いました。また、「私はワンヘルスという分野に尽力していますし、お互いの取り組みには共通点も多いので、今後とも協力し合えらばうれしいです」とお伝えしたところ「頑張りましょう」と言ってくれましたね。

**上野** それはうれしいことですね。

**藏内** そこで「実は次回、日本で獣医師の世界大会を開催するので、お越しただければ大変ありがたいです」とお願いしてみたのです。

**小川** すごいですね。誰もが知っている方がもしかしたら来られるかもしれないというワクワクがありますし、学術とはまた違った楽しみ方も広がりそうです。

## もっと知りたい One Health

### ワンヘルスのはじまり

**小川** さて、ここまで大会の内容や楽しみ方について伺ってきましたが、たびたび登場するキーワード「ワンヘルス」について、もう少し掘り下げてお話を伺いたいと思います。このワンヘルスという言葉について詳しく説明していただけますか。

**藏内** ワンヘルスとは、人と動物の健康と環境の健全性は相互に深く関係しているという考え方のことで、これらの健康を持続的に最適化するための総合的なアプローチのことを指します。さまざまな分野の垣根を越えてアプローチすることが大切で、今回の大会の中核となるキーワードです。

**上野** ドイツのウィルヒョウ博士の頃には、すでにワンヘルスと似たような概念はありましたよね。

**藏内** その当時、人と動物が共通して感染する病気が発見され、彼は 1855 年に初めて人獣共通感染症（Zoonosis）を提唱しました。その後、国際的な公衆衛生の枠組みとして「ワンワールド・ワンヘルス」という概念が提唱され、現在のワンヘルスにつながる考え方が体系化されていきました。

**小川** では「ワンヘルス」は世界のどこにいても共通のキーワードになるのですか。

**藏内** そうなのですが、まだ限られた専門家や獣医師の間で知られている程度だと思います。人獣共通感染症などに関わる機会が多いため、獣医師の間では比較的認知されているほうだと思いますね。

**小川** ワンヘルスはこの東獣ジャーナルでもたびたび出てくるキーワードなのですが、もっと積極的に取り上げていくべきだと思います。

### 幼稚園児でもわかるワンヘルス

**藏内** 実は先日、幼稚園でワンヘルスについてお話しす

る機会をいただいたのです。ところが行ってみたら驚きましてね。てっきり保護者の方に向けた講演だと思っていたら、対象はなんと幼稚園児だったのです。

**伊藤** え！ 保護者の方はいなかったのですか？

**藏内** はい、子どもたちだけでした。「これはどう話したのか……」と悩んでいたら、先生が「会長、まずは子供たちの心を掴んでください」とおっしゃるんです。どうやって掴むか……と思いましたね。でも、みんな素直な子供たちでした。「良い子のみなさん、こんにちわ！」と声をかけたら「はい！」と元気に返してくれました。ちょうど夏場でしたからね、こんな感じに話してみました。

**藏内**

みんな、今年の夏は暑かったかい？

**園児**

はい！

君たちが病気で熱が出ちゃったら、体が熱くなるね。そしたらどうする？

病院に行って、苦いお薬飲まされる！

痛い注射打たれる！

うん、そうだね。でもそうすると、3日もすればいたい熱は下がるでしょう。

この夏こんなに暑かったのは、地球が熱を出しているんだよ。地球が病気なんだ。ところが、これを治すお薬もお医者さんもないんだ。

**一同** なるほど～！

**藏内** 園児たちも「へえ～」と反応してくれました。そして、こう続けたんです。

じゃあいいかい。君たちが3～4年もずっと熱が高かったら、死んでしまうかもしれないよね。地球はそういう状況なんだ。地球が苦しんで悲鳴をあげている。その悲鳴が豪雨であり、この温暖化なんだ。

地球を治すことができるのは君たちだ。君たちがお家に帰って、お父さんお母さんに『ワンヘルスが大事だよ』と、こう言ってくれることから始まるんだ。

**藏内** そうすると、またみんな「はい！」と答えてくれたんですね。

**上野** いやあ、すごい。まさに幼稚園児でもわかるワンヘルスですね。素晴らしいです！

**藏内** 今回は幼稚園でしたが、こうした内容を行政向けに調整して、時には総理大臣や官房長官がおられる官邸でお話することもあるんですよ。

**上野** 子どもから総理大臣まで……幅広いですね（驚）。

### 宇宙とワンヘルス

**伊藤** 獣医師である我々も、もっとワンヘルスを身近に感じられるようになるとういんですね。

**藏内** ワンヘルスは人獣共通感染症などに光が当たりがちですが、もっと視野を広げてもらって、「地球の健康を守る」という大きな使命が獣医師にはあることに気が付いてほしいですね。地球の健康を守り、地球で暮らす人や動物、さまざまな生き物を守ることができるのが獣医師です。地球の健康を守るという視点は、宇宙から地球を見るとより理解しやすいのです。

**小川** 宇宙からですか!?

**藏内** そうです。私は宇宙飛行士の毛利さんのご講演を拝聴したことがあるのですが、本当に素晴らしいお話をされる方でした。

**伊藤** そうなのですね。宇宙から地球を眺めた方が語るメッセージには、ワンヘルスを考える上でのヒントがたくさんありそうです。

**藏内** 毛利さんのお話で今でも覚えているのは、「自分たち宇宙飛行士は、地球を脱出しようと思って宇宙飛行士になったのではないのです。地球という素晴らしい星をどうしたら守ることができるのか、そのために宇宙へ向かったのです」とおっしゃっていたことです。そして、宇宙から見た地球の昼と夜の画像を見せながら「皆さん、夜になるとこれほど人工的な光が見えるでしょう。ここが環境が壊されているところなんです。」と教えてく

れましたね。

**上野** ワンヘルスって、各論から入るとコアの部分がよく見えなくなってしまうのですが、僕らは成層圏を超えていなかったんですね（笑）。視野を広げて「地球を守る」と考えると、そこからわかってくるものがありそうです。

### 獣医師はワンヘルスの主役の一人

**藏内** 気象変動と環境破壊は大きく関係しています。地球上で人間がこれからも生活していこうと思うならば、ワンヘルスという考え方を身につけて、自分たちがどのような生活をするべきかを考えなければなりません。

**小川** そんなワンヘルスという世界を動かすキーワードを、日本が主導して、藏内会長が中心となって掲げてくださっているわけですね。さらには、そのワンヘルスの主役の一人に獣医師がいるというのは、大きな誇りですね。今回の世界獣医師会大会の中で、獣医師たちがその誇りをもてるかどうかって、結構重要な気がします。これはロジカルな話ではなく、もっとエモーショナルな話で重要だと思うのです。

**上野** 私が東京都獣医師会の会長になった時に、“獣医師 4.0”という言葉を使い始めました。4.0 とは、簡単に言えば“第4の時代”という意味で、最初の1.0は軍馬に携わった獣医師の時代です。その後、対象が軍馬（1.0）から産業動物（2.0）、伴侶動物（3.0）に変わっていくなかで、これからはさらにフィールドを広げ、社会で活躍する立場になってくると私は考えています。これはまさにワンヘルスの考え方だなと、今日のお話を聞いて改めて思いましたね。地球の健康を守るのは、まさに我々の仕事なのだというのを強く感じました。

**藏内** 私は臨床現場にはいませんが、臨床でしかできないことってたくさんありますよね。立場や立ち位置は関係なく、それぞれの形でアプローチすればよいと思います。

**上野** 藏内会長の立場だからこそのことも、本当に

数え切れないほどあると思います。

**藏内** そうかもしれないですね。大学卒業後は福岡に戻りましたが、獣医師として自然環境や野生動物を守るのが私の使命だと考え、まずはアジアの環境破壊に対する「ラブ・グリーン」という植林活動を始めました。

**伊藤** それがワンヘルス活動の始まりですね。

**藏内** その後も、九州の野生動物であるツシマヤマネコの保護活動を進めたり、日本での外来生物に対する法律に関わったりなど、今思えば、地球環境を守る取り組みを知らず知らずのうちに続けてきましたね。

**小川** 継続する力がすごいですよね。地続きで続けてこられた活動が、今では世界へと広がり、こうしてしっかりと形になっているのが本当に素晴らしいです。

**上野** やっぱり我々のリーダーってかっこいいですね！  
見ている世界が全然違うんだなと感銘を受けました。

**伊藤** 今日お話を伺い、世界獣医師会大会の解像度が一気に上がりました。僕は臨床に出て9年目になりますが、20代や30代の獣医師に、世界獣医師会大会に向けたメッセージがあれば、ぜひお聞かせください。

**藏内** 世界に目を向けて、羽ばたいてほしいということですかね。自分は臨床をやっているから世界はちょっと縁遠いとか、あまり関係がないというのではなく、私たちが日々向き合っている命は、地球につながっているんだということを感じてもらいたいです。

**伊藤** 獣医師、特に臨床の先生は動物病院にいる時間がとても多く、“医”の中の蛙になってしまうことがあると思っています。忙しいなかでも、もっと視野を広げていくと、問題解決の糸口が見つかったり、大きなやりがいを感じることができると思いました。

**藏内** 獣医師という専門家としてのモチベーションが一気に上がると思いますよ。まずは世界に目を向けて、その専門職としての役割を果たしてもらいたい。そうすることによって、獣医師として、モチベーションの高い充実した人生を送れるのではないかと思います。実際そう思って仕事をしていると、心が豊かになりますよね。

**伊藤** 同僚や友人も一緒に誘って、みんなで行ったほうが楽しいでしょうね。ワンヘルスについてお互い語り合ってもいいし、ちょっと勇気を出して海外の先生方と交流してみるのも、素敵な思い出になると思います。

**藏内** ぜひ大会に参加いただき、ワンヘルスの講演を聴いていただきたいですね。そうすると、自分はどういった形でワンヘルスにアプローチしてみようという、何かヒントが得られると思います。

**伊藤** ワンヘルスがわからない人ほど、大会に参加した方がよいですね。もっと身近に感じることができたり、日々の診察に向き合う気持ちも変わると思います。

**上野** それぞれの専門性や立場の中で、この地球を守っていくのだと思って活動すれば、その積み重ねが、全体としてのワンヘルス活動につながるということですね。そのワンヘルスに関わっていけることに誇りを持ち、「獣医師でよかった」と思える、そんな感覚になってもらえたら素敵です。

**小川** ありがとうございます。ワンヘルスって、プロジェクトに近い印象をもっていたのですが、もっと概念的で普遍的なもので、この数年間だけで唱えるというものではない……。もっと壮大な、地球を守るミッションのようなものなのですね。本日は大変有意義なお話をありがとうございました。

# 第41回世界獣医師会大会

## 2026

41st World Veterinary Association Congress  
TOKYO, JAPAN 21-24 April 2026



## ワンヘルスで世界の獣医療が示す未来

### 開催概要

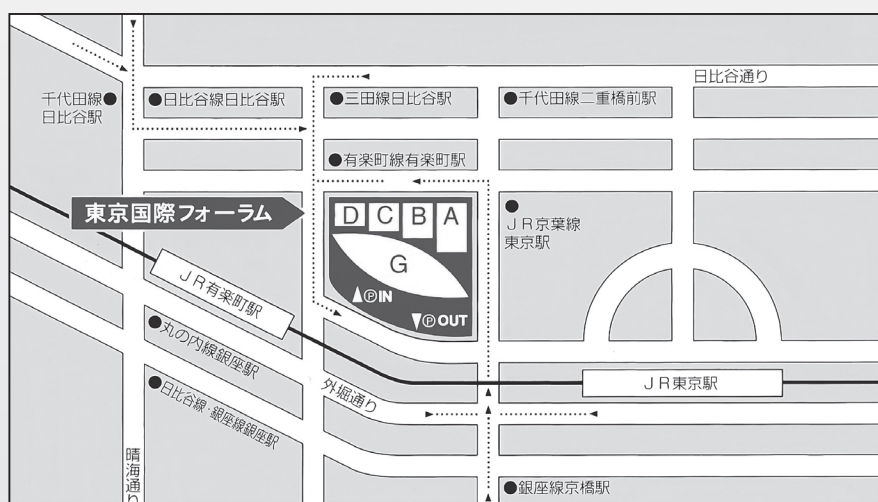
- 日程：2026年4月21日(火)～24日(金)
- 会場：東京国際フォーラム
- 主催：世界獣医師会 (WVA)・公益社団法人日本獣医師会

### 主なプログラム Program

テーマを踏まえた多彩で魅力的なプログラムを予定

- ・開会式
- ・WVA 総会
- ・ウェルカムレセプション
- ・ワンヘルスサミット
- ・WVA アニマルウェルフェアセミナー
- ・WVA 獣医学教育セミナー
- ・オフィシャルディナー
- ・閉会式

### 東京国際フォーラムへのアクセス Access



ホームページは  
こちら



## イベント・セミナー

◆令和7年度第3回学校飼育動物獣医師養成講座（兼 支部担当者会議）

日 程：1月18日（日）15：30～

場 所：ビジョンセンター西新宿

（東京都新宿区西新宿1-22-2 新宿サンエービル）

対 象：獣医師（非会員可）、獣医学生

会 費：会員2,000円（全3回分）、非会員3,000円（全3回分）、  
獣医学生 無料

申 込：

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc3au735QCJn7pUzHBhkloimVKleoYXFLz5gGolo6QTNdsOca/viewform?usp=header>

## 行政処分

▼産業廃棄物処理業者に対する行政処分について

東京都は、産業廃棄物処理業者5者に対して、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、下記のとおり許可取消しの行政処分が行われたのでお知らせします。

①日時：令和7年10月28日

名称：有限会社中村組（なかむらぐみ）

処分内容：産業廃棄物収集運搬業の許可の取消し

②日時：令和7年10月28日

名称：美貴建設株式会社（みたかけんせつ）

処分内容：産業廃棄物収集運搬業の許可の取消し

③日時：令和7年10月28日

名称：株式会社東邦運輸（とうほううんゆ）

処分内容：産業廃棄物収集運搬業の許可の取消し

④日時：令和7年10月28日

名称：大淵建設株式会社（おおぶちけんせつ）

処分内容：産業廃棄物収集運搬業の許可の取消し

⑤日時：令和7年10月28日

名称：有限会社湯浅商会（ゆあさしょうかい）

処分内容：産業廃棄物収集運搬業の許可の取消し

## 会員異動

## 【入会】

地域支部A会員

花房 圭祐（中央支部）

伊藤 文也（大田支部）

職域支部B会員

山崎 智輝（かんらん支部）

吉田 和弘（かんらん支部）

## 【退会】

地域支部A会員

室谷 大介（文京支部）

磯貝 寿男（江東支部）

小淵 浩之（多摩西支部）

地域支部B会員

唐木 智恵（世田谷支部）

## 【逝去】

黒須 幸雄（江戸川支部）

宍戸 洋一（江戸川支部）

## 【届出事項変更】

会員種別・支部変更

杉本 恵子（旧）江戸川支部A会員

→（新）江戸川支部B会員

杉本 国貴（旧）江戸川支部B会員

→（新）江戸川支部A会員

《会員数》令和7年11月6日付

A会員（開業） 567名

B会員（勤務） 434名

正会員 1,001名

賛助会員 107社



# 謹賀新年

## 賛助会員一覧

株式会社アールマーケティング

ITF合同会社

アイデックス ラボラトリーズ株式会社

アイビル株式会社

アイペット 損害保険株式会社

株式会社愛和

株式会社アオバサイエンス

株式会社アスコ

アニコム損害保険株式会社

アメリカン・エクスプレス・インターナショナル,Inc.

石原産業株式会社

ヴィータ株式会社

株式会社VETONS

株式会社EDUWARD Press

MPアグロ株式会社

株式会社エレメント

株式会社エンジン

株式会社大蔵舎 大蔵動物霊園

株式会社オキシキャリア

学際企画株式会社

株式会社企画海

共立製薬株式会社

株式会社キリカン洋行

株式会社クレディセゾン

株式会社ケーナインラボ

ケンユウペットセレモニー

株式会社コジマ

株式会社コスモ技研

サージミヤワキ株式会社

一般社団法人 再生医療抗加齢学会

サンアイビス株式会社

三幸医化学薬品株式会社

株式会社サンリツセルコバ検査センター  
J-LAB株式会社  
シグニ株式会社  
学校法人シモツノ学園  
ジャペル株式会社  
光照山真了寺附属城南ペット霊園  
新日本カレンダー株式会社  
株式会社stepdays  
Stellantisジャパン株式会社  
株式会社ストライク  
株式会社Zpeer  
住友商事株式会社  
積水ハウス株式会社  
セバ・ジャパン株式会社  
千寿製薬株式会社  
全日本空輸株式会社  
ゾエティス・ジャパン株式会社  
損害保険ジャパン株式会社  
たんぼぼ墓苑  
株式会社Tier  
有限会社ディーエルピー  
株式会社TYL  
株式会社東京動物霊園  
動物アレルギー検査株式会社  
トヨタモビリティ東京株式会社  
株式会社南海国際旅行  
一般社団法人 日中ペット産業振興会  
NITTOKU株式会社  
日本バイオテクノファーマ株式会社  
日本ヒルズコルゲート株式会社  
日本ペット少額短期保険株式会社  
株式会社ハロペ  
ビー・エム・ダブリュー東京株式会社  
PL東京健康管理センター  
一般社団法人 人とペットの幸せ創造協会  
株式会社HUMO  
株式会社ビルバックジャパン

株式会社ファームプレス  
株式会社ファインプラン  
株式会社V and P  
株式会社フォーペット ペットエンジェルゲイト  
富士フィルムVETシステムズ株式会社  
物産アニマルヘルス株式会社  
弁護士法人フラクタル法律事務所  
株式会社ブラック  
文永堂出版株式会社  
ベーリンガーインゲルハイムアニマルヘルスジャパン株式会社  
一般社団法人ペットエンバーマニングラボ  
ベトキノールジャパン株式会社  
株式会社PETOKOTO  
株式会社北社  
ボルボ・カー・ジャパン株式会社  
株式会社本郷いわしや  
マース ジャパン リミテッド  
久成山寿量寺附属 真心動物霊園  
株式会社みるペット  
武蔵野観光開発株式会社 深大寺動物霊園  
明治安田生命保険相互会社  
メットライフ生命保険株式会社  
株式会社メディアアート  
株式会社メニワン  
森久保CAメディカル株式会社  
株式会社安田システムサービス  
学校法人ヤマザキ学園  
社会保険労務士法人YourLink  
UBGコンサルティング株式会社  
株式会社Life&Tail  
学校法人立志舎  
株式会社レナテック  
ロイヤルカナンジャポン合同会社  
ロート製薬株式会社  
株式会社ワイグッドケア  
株式会社 12 薬局

(社名は50音順に掲載)

7 東獣役選委発第 1 号  
令和 8 年 1 月 5 日

## 公 示

公益社団法人東京都獣医師会  
役員選任委員会  
委員長 平山紀夫  
<公印省略>

公益社団法人東京都獣医師会役員選任規程に基づき、役員選任に関して次のとおり公示する。

1. 議決すべき役員の定数

理事 13 名（内 1 名は外部理事）  
監事 3 名（内 1 名は外部監事）

2. 立候補届受付

令和 8 年 2 月 19 日（木）及び 2 月 20 日（金）の 2 日間  
各日とも 13 時から 15 時まで

本会事務局内役員選任委員会（以下「委員会」という。）に原則として本人が所定の立候補届及び公報に関する書類を持参すること。但し、特段の理由がある場合には書留等でも可能とする。

3. 立候補者公示日及び公示方法

令和 8 年 4 月 10 日（金）

立候補者名を少なくとも 4 月 10 日（金）までに、ジャーナル及びホームページで広報する。公報は 5 月 29 日（金）までに総会資料とともに直接会員に送付する。

4. 議決権行使方法及び行使期間

議決権を行使する方法は、大きく分けて以下の 3 通りとなる。

1) 総会に出席して議決権を行使する

2) インターネットを用いる（締切 6 月 12 日（金）17 時まで）

2) -1 電磁的方法により議決権を行使する

2) -2 電磁的方法により指定の者に委任する

3) 書面（委任状兼議決権行使書）を用いる（必着 6 月 12 日（金）17 時まで）

総会資料に同封されている「委任状兼議決権行使書」の

3) -1 役員候補者名が記された議案にそれぞれ○印を付け、事務局あて返送する

3) -2 委任者名記入欄に受任者氏名を記載し、事務局あて返送する

※但し、複数の方法を重ねて議決権が行使された場合、総会出席による議決を最も優先し、次にインターネットによる議決を優先する。

5. 賛成議決数（得票数）の確認と役員の選任

総会当日に行使された議決数を、事前に行使された議決数に加え、立候補者の賛成議決数（得票数）を確定する。過半数の賛成議決数（得票数）を得た候補者の中から、得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任する。

# 公益社団法人東京都獣医師会役員選任のお知らせ

公益社団法人東京都獣医師会  
役員選任委員会

令和 8 年 1 月 5 日 (月)、公益社団法人東京都獣医師会の理事及び監事の役員選任に関する公示をしました。役員選任は第 8 回総会で承認された役員選任規程により、事前の候補者選任選挙を行わず、立候補者全員を総会に上程し、決議により選任します。

## 1. 議決権及び立候補者の資格

- ①議決権は、定款施行細則第 10 条により、総会開催の日の 30 日前までに正会員として登録されている者が有する。
- ②立候補者の資格は、役員を選任を行う総会開催日の 2 週間前から起算して 3 年間以上正会員として在籍し、会費を滞納していない者で、かつ定款第 20 条第 1 項の各号に該当しない者が有する。

公示日  
(令和 8 年 1 月 5 日 (月))



立候補受付  
(令和 8 年 2 月 19 日 (木) 及び 20 日 (金))



立候補者公示  
(令和 8 年 4 月 10 日 (金))



議決権行使書の送付 (総会資料に同封)  
(令和 8 年 5 月 29 日 (金) まで)



事前の議決権行使及び委任期間  
(令和 8 年 6 月 12 日 (金) 17 時まで)



総会において役員選任に係る議案・決議  
(令和 8 年 6 月 14 日 (日))



選任者の報告  
(令和 8 年 6 月 14 日 (日))

## 2. 立候補受付

役員に立候補しようとする者は、所定の立候補届及び公報に関する書式を役員選任委員会 (以下「委員会」という。) に提出する。

所定の書式用紙は、本会事務局 (03-3475-1701) に請求し入手する。

## 3. 立候補者の公示

委員会は、立候補者名をジャーナル及びホームページで会員に広報する。

## 4. 役員を選任 (以下の①~③のいずれかの方法による)

①総会に出席して議決権を行使する。

②インターネットからの電磁的方法により、6 月 12 日 (金) 17 時まで議決権を行使するか、委任者に委任する。

③総会資料に同封された「委任状兼議決権行使書」を用い、予め候補者名が記された議決権行使書に○印をつけ議決権を行使するか、受任者を指名した委任状を、6 月 12 日 (金) 17 時まで必着で事務局あて送付する。

但し、複数の方法で議決権が行使された場合、総会出席による議決を最も優先し、次にインターネットによる議決を優先する。

## 会務報告

令和7年度 公益社団法人東京都獣医師会行事予定表  
(令和7年12月16日現在)

## 1月

- 5日(月) 役員改選に伴う公示  
18日(日) 14:00～ 第3回学校飼育動物獣医師養成講座(ビジョンセンター西新宿)

## 2月

- 15日(日) 12:00～ 第3回関東・東京合同地区獣医師会監査会・理事会・懇親会(山梨県石和)  
19日(木)、20日(金) 役員改選に伴う立候補受付

## 3月

- 1日(日) 狂犬病担当国会議・講習会(日獣大)  
未定 業務執行理事会(本会)  
10日(火) 16:00～ 第5回理事会(本会)  
26日(木) 第2回賛助会員ミーティング

## 「TOJU ジャーナル」WEB版

過去の特集記事は、東京都獣医師会公式サイトでもご覧いただけます。  
URL: <https://www.tvma.or.jp/>



## 広報委員会

◎伊藤優真 ○山本剛和 安藤淳代 三宅亜希 藪内健吾  
◎広報委員長 ○広報副委員長

## 編集後記

世界の獣医師が東京に集まる——。そんな特別な瞬間が、ついに私たちの目の前まで近づいています。臨床に向き合い続ける日々のなかで、どうしても“目の前の動物・飼い主さん”に意識が集中していました。

そのようななか、今回の取材では、藏内会長や上野会長のお話から「ワンヘルス」がぐっと身近に、そして私たちが扱う命が、実は地球の健康へと連なっていることに胸が熱くなりました。ワンヘルスは難しい概念ではなく、「地球を守る」という、獣医師としての誇りを呼び覚ます合言葉だった、ということに、です。

世界獣医師会大会では、最先端の知識に触れ、海外の獣医師と語り合う——そんなワクワクがギュッと詰まった時間が待っています。取材後、「これは絶対に参加しないとまらない」と心から思いました。読んでくださった皆さまにも、この高揚感が届きますように。

広報委員長 伊藤優真



RX

LEXUSの進化と変革を  
象徴するRX

Photo:RX500h“FSport Performance”AWD

車両本体価格9,030,000円(税込) ボディカラーはホワイトノーヴァガラスフレック(083)。

【車両本体価格】6,680,000円(税込)RX350“version L”2WD(FF)～  
9,030,000円(税込)RX500h“FSport Performance”AWD次世代 LEXUSの幕開けを  
象徴するNX

NX



Photo:NX450h+“FSport”AWD 車両本体価格7,585,000円(税込)

ボディカラーはセレスティアルブルーガラスフレック(8Y6)。

【車両本体価格】5,500,000円(税込)NX350h2WD(FF)～7,725,000円(税込)NX450h+“OVERTRAIL”AWD

※掲載内容は2026年1月のもので、予告なく変更する場合があります。※写真は一部合成です。※表示の車両本体価格にはオプションおよび取付費は含まれません。保険料、税金(除く消費税)、登録料などの諸費用は別途申し受けます。リサイクル料金が別途必要となります。※北海道地区の価格には寒冷地仕様の価格が別途加算されます。※ボディカラーは撮影、印刷インキの関係で実際の色とは異なって見えることがあります。※価格には消費税10%が含まれております。詳しくはLEXUS販売店におたずねください。

LEXUS認定中古車

cpo

<https://cpo.lexus.jp>

LEXUS CPOも提携特別ご優待の対象となりました。

LEXUS CPO(Certified Pre-Owned)とは、LEXUSの名にふさわしい  
U-Carをお求めのお客様のために生まれたLEXUS認定中古車です。CPOの詳細情報、  
在庫車両一覧はこちら >>

東京都獣医師会の皆様へ

提携特別ご優待を実施しております。

※特典の対象は東京都内のLEXUS店舗に限ります。

【お問い合わせ先】トヨタモビリティ東京株式会社 LEXUS企画部 保険・金融・販路拡大グループ

E-mail [lexus\\_eisui@toyota-mobi-tokyo.co.jp](mailto:lexus_eisui@toyota-mobi-tokyo.co.jp)<< <https://lexustokyo.jp>
  
LEXUS
   
EXPERIENCE AMAZING

定価 400円(税別)